

# プーターロー村

プーターローとはどんな意味かは知らなかった。インターネットで検索しても、「岩手県八幡平の麓にプーターロー村と云う所がありログハウス、丸太小屋があるキャンプ場」としか出ていない。洋一が来たとき、検索してくれ分った。「プーターロー」とは（風来坊）を意味するのだそつだ。

私達が小村崎に転居した年の平成二年九月二十二日から二十四日迄、洋一家族、私達、渡さん夫婦、長町の父ちゃん（設子と渡さんの父親）の九人で、二泊三日の小旅行に洋一のワゴン車は七人乗りで乗り切れないので、レンタカーを借り出発した。

行く先は八幡平、十和田湖、古牧温泉、小岩井牧場、等である

朝早く出発、ハイウエーを北上し、松尾八幡平で下り、一日目の宿泊地八幡平麓のプーターロー村に向かった。林の中にログハウスの貸し切り小屋がある。あらゆる娯楽設備、売店、レストラン、運動場、自転車周遊コースがあり、家族でキャンプしながら楽しめる。

到着後早速広い村内で、娯楽設備で思い思い夕方まで遊んだ。

孫達はサッカーボールを持ち出し広場で駆けずり回っている。私達は二人乗りで二人してベタルを踏む、長い自転車を借り、周遊コースを楽しく一周した。二人乗り自転車に妻と乗り楽しむ事は二度と



無いだろうと思う。いい思い出だった。二人でレストラン、売店などを見物し、夕方ログハウスにリヤカーを借り荷物を運び、楽しい晚餐が始まった。庭に火を起し、焼き肉パーティーだ。ビールも多めに持って来ている。孫達は飲まないが、皆気よく飲んだ。小屋は比較的広く、全員分のベッドがあり、一通りの設備があり、グッスリ休む事が出来た。

深緑の中、野鳥の声と共に跳ね起き、そろって朝食、昨日の楽しかった話をして英気を養い、パターゴルフ場に出掛けた。ワンボギーならぬテンボギーをやらかし、大笑い、写真を撮り、約二時間で小屋に帰り、片づけ、荷物を車に載せ、プータロー村を出発した。八幡平アスピーテラインに入り、頂上の展望所で休憩。一同の写真、私達二人の写真などを撮り、一路十和田湖に向かった。

十和田湖畔のレストランで昼食。洋一を除く八人は遊覧船に乗り湖面から旅情を満喫。洋一は、車を遊覧船終着場所に回送だ。晴れて静かな日和だったので、乙女の像も見えだし、周りの緑、山々の絶景が心を和ませてくれた。

十和田湖を離れ、奥入瀬川に沿ってユックリ景色を眺め、途中で下車。綺麗な冷たい水に手を浸し、感慨と思いを写真を撮り、三沢市の古牧温泉に回かった。



古牧温泉は、昔その地主が温泉のポ  
ーリングを始めたとき、町の人々は  
「こんな所に温泉が湧く筈は絶対な  
い」と断言したそうだ。温泉といえ  
ば殆ど山岳地帯、古牧温泉は海に近い。  
だが苦心の末温泉を掘り当てた。そ  
の温泉ホテル群の中に、オーナーの自  
宅がある。温泉全体がオーナーの所有  
地である。

早めに古牧グランドホテルに到着  
チエックインし、カップの沼一周。そ  
の他付近の施設を見物後、部屋に入っ  
た。ホテル内部も豪華で、皆で一回り、  
旅の疲れも何のその、充分堪能して、  
海の幸多い食卓に付いた。

部屋に戻るともう蒲団が敷いてあ  
る。亮と拓は寝間着に着替え大はしゃ  
ぎ。全員一部屋だから楽しい。温泉に  
浸り、遅くまで旅の話しに花が咲き、  
何時の間にか眠りに落ちた。

セルフサービスのバイキング朝食  
後、今日も天気が良いと機嫌よく出発。  
高速道八戸インターより入り、盛岡イ  
ンターで下り、小岩井農場に向かった。  
小岩井農場では充分時間をかけ楽  
しみ、レストランで昼食、写真を多く  
撮り、無事仙台に帰った。

私は六十六才、なかは五十九才、忘  
れ得ぬ楽しい旅行の思い出である。

平成十四年九月十一日

